

## ◆朋栄：キャメロン大学がテレビスタジオにHVS-490などを導入

NDI®、入出力数/DVE数強化などで複雑な制作にも対応可能な使いやすいシステムを実現

株式会社朋栄（代表取締役社長：清原克明、本社：東京都渋谷区）は、米国名門大学の1つであるキャメロン大学（米国オクラホマ州ローラントン、<https://www.cameron.edu>）が、学生たちに一流の体験型教育を提供するという施策の一環としてテレビスタジオを改修し、朋栄のHVSビデオスイッチャーをはじめ、メディアサーバー、グラフィックスシステムを導入したと発表した。



キャメロン大学は、実体験を優先した教育を行っており、今回のシステム導入により学校全体の制作能力を向上させるとともに、学生に提供する教育機会を大幅に拡充することが可能になりました。システム構築は、ノースカロライナ州に本拠を置くSCMS, Inc. (<https://scmsinc.com>) が担当した。



キャメロン大学でジャーナリズムとメディア制作を学ぶ学生は、スタジオ運用とテレビ番組制作の授業の一環として、新たに導入されたビデオスイッチャーHVS-490、Odyssey製メディアサーバーInsight、ClassX製グラフィックスシステムClassXを使った実践的なトレーニングが受けられる。学生は、授業のほかに、週に最大4本のテレビ番組を制作、キャンパス内にあるテレビ局CU-TVで放送するほか、キャメロン大学のデジタルニュースプラットフォームAggieCentral.comでストリーミングするコンテンツを制作している。

キャメロン大学の英語および外国語コミュニケーション学部でジャーナリズムとメディアの授業を担当する教授であるマティソン・ジェンキンス（Mattison Jenkins）博士は、システムの導入について次のように話している。

「システムは何の問題もなく運用できました。非常に直感的で、以前のシステムよりもはるかに使いやすく、最初のライブ制作もス



ムーズに進められましたし、その場ですぐに変更を加えられることには驚かされました。学生と教職員は番組の仕上がりの改善に感動していましたが、何よりも、このシステムで学生に提供される体験型教育が飛躍的に向上したことを、とても嬉しく思っています。」

ジェンキンス教授が最も期待している新しい機能に、ClassXのLiveBoardに搭載されているNDI®ストリーム10系統の入力があります。LBconnectアプリケーションを使用することで、HVS-490のコントロールパネルから制御することが可能です。また、HVS-490のWeb GUIが、VRAM（ビデオRAM）を取り込めることや、マウスをクリックするだけでPCから直接画像をスチルストアに読み込めること、プレイリストを再生/停止するためのInsightサーバーのVDCP制御についても、その他のメリットとして挙げている。

「P-in-Pの動的なDVEトランジションに任意のNDI®ソースを挿入したり、主要なビデオ会議プラットフォームのいずれかを使用してフィールドレポーターをストリーミングしたりすることができます。これにより、すべての番組で、ネットワーク局に匹敵するグラフィックスを用いた見栄えのある番組を制作できるようになりました。朋栄製品を導入する前と後では、私たちのスタジオには雲泥の差があります。このシステムを使用して学生たちに授業ができることに、この上ない喜びを感じています。」

FOR-A Corporation of Americaの兼村聡社長は、今回納入したシステムについて、次のようにコメントした。

「HVSスイッチャー、Insightサーバー、ClassXグラフィックスを組み合わせた強力なソリューションを提供できたことを嬉しく思います。キャメロン大学の学生が制作する番組を見るのが、今からとても楽しみです。HVS-490にNDI®入出力オプションを追加搭載することでシステムは簡単に拡張が可能になり、どんなタイプのコンテンツを考えたとしても実現する準備が整います。」

※ NDI®はVizrt Groupの登録商標です。

製品に関する問い合わせ：株式会社朋栄 国内営業本部

TEL：03-3446-3121 FAX：03-3446-4451

e-mail：ad@for-a.co.jp

## ◆朋栄：株式会社朋栄 子会社 2 社の合併について ソフトウェア開発事業を行う 2 社を株式会社アイ・ビー・イーに経営統合

株式会社朋栄（代表取締役社長：清原克明、本社：東京都渋谷区）は 2 月 20 日、朋栄 100% 出資の子会社である株式会社朋栄アイ・ビー・イー（代表取締役社長：清原克明、東京都渋谷区）と株式会社シーパス（代表取締役社長：三宅正治、東京都渋谷区）の 2 社を、3 月 1 日付けで株式会社アイ・ビー・イーに経営統合することを発表しました。

今回の合併は、ソフトウェア開発業務を行う子会社統合による相乗効果ならびに両社経営資源の統合による効率化を図ることが目的です。これまで株式会社シーパスが自社開発してきた製品（残時間計表示装置、トリキリ画像送出装置）は株式会社アイ・ビー・イーに引き継がれるとともに、販売代理店を務めてきた BlackBox 製品、ADTECHNO 製品、MEDIAEDGE 製品についても、株式会社アイ・ビー・イーが引き続き販売を行います。

朋栄ならびに朋栄グループ各社は、お客様、パートナーの皆様からのご期待にこれまで以上に応えられるよう、これからもう一丸となって新会社をバックアップしてまいります。

### ■新会社概要

- (1) 名称：株式会社アイ・ビー・イー
- (2) 合併会社発足日：2023 年（令和 5 年）3 月 1 日
- (3) 所在地：東京都渋谷区恵比寿三丁目 1 番 7 号 タマビル恵比寿 4 階
- (4) 役員：代表取締役社長 清原 克明（株式会社 朋栄 代表取締役（兼任）  
取締役副社長 竹松 昇（株式会社朋栄アイ・ビー・イー取締役副社長）  
取締役専務 三宅 正治（株式会社シーパス 代表取締役社長）
- (5) 事業内容：映像制作・ファイルベース・VoIP のソフトウェア設計・開発、クラウドサービスの設計・開発、SI、システム保守
- (6) 会社 Web サイト：<https://www.mpeg.co.jp>（3 月 1 日より）
- (7) 会社ロゴ：



## ◆第 36 回東京国際映画祭 (TIFF) は 2023 年 10 月 23 日（月）～ 11 月 1 日（水）の 10 日間、併設マーケットの TIFFCOM2023 -the Marketplace for film and TV in Asia- は 2023 年 10 月 25 日（水）～ 27 日（金）の 3 日間での開催。

TIFF の方の開催会場は昨年同様日比谷・有楽町・丸の内・銀座をメインに展開します。TIFF の作品公募に関しましては、4 月中旬に開始予定ですので、詳細決まり次第公式サイト等で掲載していきます。ポストコロナで映画業界が復活に向けて盛り上がっていく中で、東京国際映画祭もその一助を担えればと思っておりますので、今年の開催にも是非ご期待下さい。



本件に関する問い合わせ（公益財団法人ユニジャパン内）  
東京国際映画祭事務局 プロモーショングループ  
E-mail：tiff-press@tiff-jp.net

TIFFCOM 事務局 E-mail：press@tiffcom.jp

※テレワーク中心となっておりますので、問い合わせはメールにて

### <第 36 回東京国際映画祭 / TIFFCOM2023 開催概要>

#### 【第 36 回東京国際映画祭】

開催期間：2023 年 10 月 23 日（月）～ 11 月 1 日（水）【10 日間】  
【TIFFCOM2023】

開催期間：2023 年 10 月 25 日（水）～ 27 日（金）【3 日間】



### ■主催：公益財団法人ユニジャパン

◇ TIFF サイト：[www.tiff-jp.net](http://www.tiff-jp.net)

◇ TIFFCOM サイト：[tiffcom.jp](http://tiffcom.jp)

第 36 回東京国際映画祭 / TIFFCOM2023 開催日決定！！

第 36 回東京国際映画祭 2023 年 10 月 23 日（月）～ 11 月 1 日（水）【10 日間】

TIFFCOM2023-the Marketplace for film and TV in Asia-  
2023 年 10 月 25 日（水）～ 27 日（金）【3 日間】

## ◆アジア全域版アカデミー賞アジア・フィルム・アワード 日本を代表する俳優・阿部寛さん 第16回 AFA [Excellence in Asian Cinema Award]受賞！！

アジア・フィルム・アワード・アカデミー（以下、AFAA）は、アジア全域版アカデミー賞「第16回アジア・フィルム・アワード」（以下、AFA）にて、国内外で幅広く活躍し、日本を代表する俳優、阿部寛さんに「Excellence in Asian Cinema Award」を授与することを発表した。阿部さんは2023年3月12日（日）に香港にて開催される授賞式にも参加予定。

「Excellence in Asian Cinema Award」は、優れた才能を持つ映画人にスポットを当て、その映画人のアジア映画界・アジア文化における業績と貢献を称える賞です。日本人としての受賞は、第9回（2015）の中谷美紀さん、第13回（2019）の役所広司さんに続く、3人目となります。また、本賞を含む、過去のAFA特別賞の受賞者には、山田洋次監督、アマターブ・バッチャンさん、チャン・イーモウ監督、ミシェル・ヨーさん、ホウ・シャオシェン監督、アン・ホイ監督、樹木希林さん、イ・ビョンホンさんなどの映画人がおります。

阿部さんは、1987年の映画『はいからさんが通る』で俳優デビューしてから30年以上のキャリアを誇り、国内外で90本以上の映画作品に出演し、数々の大胆かつ挑戦的な役柄を演じています。海外の作品にも多く出演しており、初の主演映画は、香港との合作作品『孔雀王 アシユラ伝説』（1990）、また東京を舞台にしたアクション映画『東京攻略』（2000）ではトニー・レオン等名だたるアジアのスターと共演しました。他にもタイのアクション映画『チョコレート・ファイター』（2008）や日中合作映画で、東京国際映画祭第30回記念のオープニングスペシャル作品として上映された『空海-KU-KAI- 美しき王妃の謎』（2017）にも出演しています。阿部さんの卓越した演技力と才能は、日本だけでなく国際的な映画シーンでも認められ、アジア映画の発展に大きく貢献しており、今回受賞が決定しました。

**阿部寛さんコメント：**「この度【Excellence in Asian Cinema Award】を受賞することができ、とても光栄に思います。AFAのような大きな賞をいただき、本当に驚いています。受賞を聞いた時は、これまでずっと一緒にやってきたスタッフさんたちがそばにおり、皆で本賞を分かち合えることが嬉しく、大変感謝しています。」

**アジア・フィルム・アワード・アカデミー（AFAA）ウィルフレド・ウォン会長 コメント：**「日本のエンターテインメント業界における阿部寛さんの地位は、唯一無二のものです。彼の演技への愛情は、日本映画そしてテレビドラマに新鮮さと活力をもたらし、日本のエンターテインメントの発展に大きく貢献しています。」

**東京国際映画祭チェアマン 安藤裕康 コメント：**「阿部寛さんは、日本の映画界やテレビ界の若い世代に、献身性と獨創性において目標となる姿勢を示してきました。阿部さんが映画への情熱を持ち続け、



将来、アジアの映画そしてテレビで、さらなる飛躍を遂げることを期待しています。」

### <阿部寛プロフィール>

1987年の映画『はいからさんが通る』で俳優デビュー。1993年、つかこうへいさん作・演出の舞台「熱海殺人事件～モンテカルロ・イリュージョン～」で主人公を演じ話題となる。その後も、人気テレビドラマの劇場版『TRICK』シリーズ、モンテリオール世界映画祭で審査委員特別賞を受賞した『ふしぎな岬の物語』（2014）、是枝裕和監督の『海よりもまだ深く』（2016）など、数々の話題作に出演し、国際的にも高い評価を受けている。2008年の『歩いてても歩いても』、また第21回東京国際映画祭の日本映画・ある視点で上映された『青い鳥』で毎日映画コンクール男優主演賞を受賞したほか、『テルマエ・ロマエ』（2012）で日本アカデミー賞最優秀主演男優賞、同じく『テルマエ・ロマエ』、『麒麟の翼～劇場版・新参者～』（2012）、『カラスの親指』でブルーリボン賞主演男優賞、『護られなかった者たちへ』（2022）で優秀助演男優賞など、数多くの賞を受賞。さらに2022年には、ニューヨーク・アジア映画祭で日本人初となる「スター・アジア賞」を受賞している。



### 第16回 AFA 概要

日程：2023年3月12日（日）

会場：香港故宮文化博物館 Jockey Club Auditorium（香港、西九龍（ウエストカオロン）文化地区）

URL：https://www.hkpm.org.hk/en/home

アジア・フィルム・アワード（主催：アジア・フィルム・アワード・アカデミー）2007年に創設されたアジア映画を対象とした映画賞。東京国際映画祭は2013年より、香港国際映画祭、釜山国際映画祭と共にアジア・フィルム・アワード・アカデミーを創設し、アジアの映画業界と連携し、その年のアジアの映画人を表彰しスポットライトを当てることでアジア映画ファンの創出、世界へのアジア映画の振興、文化交流を図っています。

アジア・フィルム・アワード公式サイト：

<http://www.afa-academy.com>

各賞のノミネーションについては下記を参照ください。

<https://2022.tiff-jp.net/news/ja/?p=60837>

<https://willap.jp/t?r=AAAAjyMdokJg7hdKEn7BD1xfI9Eay6kXhIVWQg>

## ◆ Blackmagic Design : オーストラリア人の映像作家、DAVINCI RESOLVE で語学学習チャンネルを拡大

Blackmagic Design は、オーストラリア人ユーチューバーのラモント・マクラウド (Lamont McLeod) 氏の言語学習チャンネル「Days of French 'n' Swedish」が、編集、グレーディング、VFX、オーディオプロダクション・ソフトウェアである DaVinci Resolve を使用していると発表した。

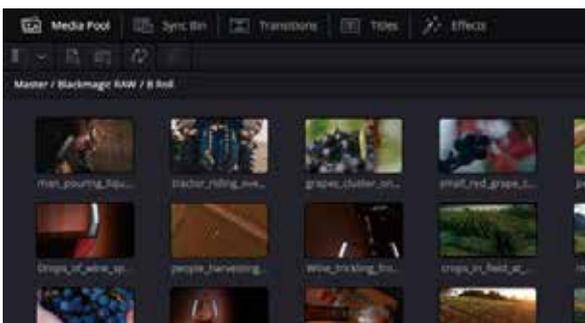
過去にプロの写真家として活躍していた同氏は、言語習得のコンテンツをより面白いものにするために独自のアプローチを取っており、DaVinci Resolve を使用して、短編ビデオのシリーズを作成している。「Days of French 'n' Swedish」は、外国語テレビ番組のレビューチャンネルとして YouTube に登場したが、世界各地の新しい言語を学ぶ人たちの間で人気となり、5 万 6 千人を超えるチャンネル登録者が活発に利用している。



「当初は、外国語のテレビ番組について話すチャンネルでした。あまり多くの人たちが話っていない分野だと感じたからです。しかし、私がフランス語とスウェーデン語を習得した方法について視聴者から多くの質問が寄せられたので、それに関するビデオを制作するようになりました」と同氏は語る。

「2020 年に最初の短編ビデオを作成し始めた時、あるエフェクトを使いたかったのですが、他のソフトウェアでは使用できませんでした。そこで、DaVinci Resolve を試しに使ってみたのですが、他と比較して、非常に多くのことが簡単にでき、他では使用できない機能も使うことができ大変驚きました。唯一後悔している点は、もっと早くに Resolve を使い始めていれば良かったということだけです。一度使用した後は、他のアプリケーションに戻ろうと考えたこともありませんでした。」

同氏は続ける。「多くの場合、ソフトウェアのカラー機能を若干ひねった使い方をする必要はあるんですが、DaVinci Resolve では



これまでより早く希望通りのルックが得られると感じています。後になってから、Resolve は元々はカラーグレーディングのツールだと知ったのですが、カラーの機能が突出している理由はそこにあったのだと納得しました。」

「内蔵のタイトルとエフェクトもとても気に入っています」と同氏は説明する。「アニメートされたタイトルや、ダイナミックズームなどの機能が搭載されているおかげで多くの時間を節約できています。なぜ BMW が古い日産車を運転するより良いかを聞くことに似ているかもしれません。何か明らかに大きな違いがある訳ではなく、小さな違いの総集が操作に影響を与えていると思います。」

同氏は、定期的なビデオの編集に DaVinci Resolve を使用している。また、同ソフトウェアによりビデオのプロダクションバリューを上げることができ、これまでに教育的な短編ビデオもいくつか制作している。最も人気のあるビデオの一つが「When watching a foreign TV series goes VERY wrong (外国語テレビ鑑賞が思わぬ方向に進んだ時)」だ。

「この作品のアイデアを持っていたかどうかは覚えていません。気づいた時には、『ゼロ・グラビティ』の言語学習版パロディの脚本を書いていたからです。映画では多数の CG とグリーンバックを使用していますが、私のビデオでは全く使っていません。そういった違いはありますが、『ゼロ・グラビティ』では 3 秒間のショットを思い通りに仕上げるために、多大なる努力と時間を費やしていたことを知り、それに刺激されてこのビデオを制作しました。」

「最初の短編を撮影する数週間前に、映像撮影における照明について学びました。それ以来、言い訳を探しては短編を制作しようとしています。いつか新たな短編を制作することができたら、撮影と学習の対比に関する作品を作りたいですね」と同氏は締めくくった。

詳細は [www.blackmagicdesign.com/jp](http://www.blackmagicdesign.com/jp)

